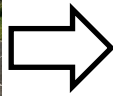


回覧

発行:余市協会病院
 発行日:令和4年9月1日
 発行人:吉田 秀明
 編集人:広報委員会
 お問い合わせ:0135-23-3126

はつらつ PLUS

発熱外来検査センター移転工事をおこないました



発熱外来検査センターが自転車駐輪場の位置に移転しました。ドライブスルー検査もこちらになります。

それとともない自転車駐輪場も移転します。日本調剤さん側の空き地に臨時自転車駐輪場をもうけておりますので自転車でお越しのさいはお手数ですがそちらをご利用ください。新駐輪場は正面玄関前に9月中に完成予定です。

しょう！
 感染予防を心がけま



手洗い手順できていますか？

胃潰瘍について

1.胃潰瘍の症状

胃潰瘍のよくある症状としては、空腹時のみぞおちの痛み、胸やけやゲップ、また黒いお便が出ることがあります。このような症状がある場合は胃潰瘍の可能性があるので受信しましょう。

2.胃潰瘍の原因

胃潰瘍といえばストレスや暴飲暴食が原因とおもっていませんか?過去そういわれていました。しかし、結論からいえば原因の9割を占めるのは「NSAIDs」と「ピロリ菌」です。(ストレスや暴飲暴食が原因の場合もあります)

NSAIDs

非ステロイド性抗炎症薬(Non-Steroidal Anti-Inflammatory Drugs)の略でして、有名なお薬にはロキソニン®、バファリンA®、イブ®などがあります。皆様も一度はのんだことがあるのではないのでしょうか。市販薬として世に出ています。しかし胃潰瘍の原因となるのです。なぜか?一つ目の理由は直接胃粘膜を障害してしまうためです。二つ目として胃粘膜を保護する「プロスタグランジン」という物質が作られるのを邪魔して保護してくれる物質が減ってしまうためです。

ピロリ菌

正式名称はヘリコバクター・ピロリという菌で、胃に存在している人がいます。この菌は厄介者で、胃粘膜を弱らせ胃酸によって自分の胃粘膜を傷つけてしまいます。

※ここで、そもそもなんで胃は胃酸で溶けないんだ?と疑問に思った方がいらっしゃると思います。それこそ先述したプロスタグランジンなどの防御してくれる物質などがいて胃への「攻撃」を弱らせ「防御」を強くしてくれる仕組みがあるからです。この「攻撃」と「防御」のバランスが崩れると胃潰瘍になるわけです。

3.予防

先ほど胃潰瘍の原因がはっきりしました。ならないようにするには原因の芽を摘めば良いわけです。

NSAIDs 対策

ロキソニン®を飲む際はムコスタ®やレバミピド®など胃を守ってくれるお薬と一緒に内服しましょう。病院で処方されるときは一緒に処方されることが多くなってきましたが、市販薬を購入される場合はそのまま NSAIDs だけ販売されています。ですので胃を守ってくれる薬を見つけて一緒に飲んでください。

また、別の手として NSAIDs ではない痛み止めを飲む方法もあります。たとえばカロナール®。ただし肝機能がよくない方はかかりつけの医師とよくご相談ください。

ピロリ菌対策

胃カメラを受けましょう!成人を迎えたら年に1回は受けたほうが良いと言われています。内視鏡の先生は胃の中を見てピロリ菌がいそうかいなさそうか判断してくれます。もちろん検査もしてピロリ菌がいるとなれば除菌の流れになります。

4.まとめ

昔は胃潰瘍となれば手術することもありました。しかし今では良いお薬が出て手術しなくてもよくなってきました。とはいえ症状としてはとてもつらいものがありますから上記2つについて気を付けて胃潰瘍を予防しましょう。もちろんストレスや暴飲暴食が原因となる場合もありますので、リラクゼーションや食事習慣の改善も大切です。

斗南病院研修医 高橋 護



救急件数

(6月)
(7月)

外来受診	126件	うち入院	26件
救急車来院	71件	うち入院	32件
外来受診	167件	うち入院	28件
救急車来院	103件	うち入院	35件